平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月14日

上場会社名　株式会社アミューズ　　上場取引所　東
コード番号　4301　URL http://www.amuse.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 畠中 達郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　(氏名) 宮腰 俊男　TEL 03-5457-3358

四半期報告書提出予定日　平成23年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	19,192	△14.1	1,653	△22.3	1,655	△21.8	802	△10.8
22年3月期第3四半期	22,333	3.6	2,129	△18.6	2,116	△19.1	899	△24.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	86.76	―
22年3月期第3四半期	96.78	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	17,477	11,771	65.7	1,242.92
22年3月期	16,694	11,179	65.5	1,176.62

(参考) 自己資本　23年3月期第3四半期　11,481百万円　22年3月期　10,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	―	10.00	―	10.00	20.00
23年3月期	―	10.00	―		
23年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,200	△5.4	1,790	41.1	1,800	49.3	880	―	95.13

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

1株当たり当期純利益につきましては、当第3四半期における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映した修正を行っております。

4. その他　（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	9,311,760株	22年3月期	9,311,760株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	74,283株	22年3月期	15,519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	9,250,314株	22年3月期3Q	9,297,582株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の発表日現在において、平成22年5月11日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、当四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（第３四半期連結会計期間） …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や各種政策効果などを背景に、企業収益の改善が続くなど景気は一部持ち直しつつありましたが、依然として厳しい雇用情勢やデフレ状況に加え、円高など外部環境も悪化しており、景気減速が懸念されております。

当第３四半期連結累計期間の主な事業につきましては、前年同期に比べ大型コンサートツアーや舞台公演の実施は減少いたしましたが、若手役者系アーティストを中心に多様なアーティストによるＣＭ出演を積極的に展開し好調に推移いたしました。また、音楽事業において新譜ＣＤ発売による印税収入が好調だったことに加え、事業利益をグループ内に集約する一気通貫事業が増加し、音楽パッケージ、グッズバンドルなどの販売収入が拡大いたしました。さらに、年末にかけて当社アーティストによるコンサート、イベントを積極的に実施し、アーティストグッズ販売収入、ＦＣ会員収入も含め堅調でありました。ＤＶＤ販売においては、自社アーティスト出演作品を拡充することで、前年同期に比べ販売が拡大し堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、前年同期に比べ大型のコンサートツアーが少なく、イベント関連の収入が減少したことにより、営業収入191億９千２百万円（前年同期比14.1％減）、営業利益はＣＭ出演や音楽事業が好調でありましたが、上記減収要因により、16億５千３百万円（前年同期比22.3％減）、経常利益は16億５千５百万円（前年同期比21.8％減）、四半期純利益は８億２百万円（前年同期比10.8％減）となり、計画に対して堅調に推移いたしました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

〔アーティストマネージメント事業〕

当事業につきましては、三浦春馬、佐藤健など若手役者系アーティストを中心に、福山雅治、大泉洋など多様なアーティストによるＣＭ出演を積極的に展開し好調でありました。また、音楽事業においては福山雅治、ｆｌｕｍｐｏｏｌなど一気通貫事業による販売の増加に加え、ＣＤ発売による印税収入も好調でありました。さらに、福山雅治、ポルノグラフィティ、Ｐｅｒｆｕｍｅ、ｆｌｕｍｐｏｏｌなどのコンサート収入、地球ゴージャスによる舞台公演収入などに加え、グッズ販売収入、ＦＣ会員収入も含め堅調に推移いたしました。しかしながら、前年同期に比べ大型のコンサートツアーが減少したことにより、全体としては減収減益となっております。

この結果、営業収入124億４千３百万円（前年同期比20.9％減）、セグメント利益20億１千５百万円（前年同期の営業利益比29.7％減）となりました。

〔メディアビジュアル事業〕

当事業につきましては、ＤＶＤ販売におきまして、上野樹里主演邦画「のだめカンタービレ最終楽章 前編、後編」、福山雅治主演大河ドラマ「龍馬伝 ＢＯＸ-１、２」、三浦春馬、佐藤健主演ドラマ「ブラッディ・マンデイ シーズン２」など、自社アーティスト出演作品を中心に販売が拡大し、厳しい事業環境の中においても、営業収入、セグメント利益ともに堅調に推移いたしました。

この結果、営業収入53億１千７百万円（前年同期比4.8％増）、セグメント利益９千９百万円（前年同期は５億３千１百万円の営業損失）となりました。

〔コンテンツ事業〕

当事業につきましては、サザンオールスターズ、福山雅治、ポルノグラフィティ、ＢＥＧＩＮなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用による印税収入でありましたが、主に配信印税収入が減少したことにより若干の減収減益となりました。

この結果、営業収入14億３千１百万円（前年同期比6.2％減）、セグメント利益２億７千８百万円（前年同期の営業利益比19.5％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は174億７千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億８千３百万円増加いたしました。主な要因としましては、営業活動に伴う流動資産「商品及び製品」及び「仕掛品」の減少、流動資産「営業未収入金」の回収による減少要因等はありましたが、営業活動に伴う流動資産「現金及び預金」の増加要因等が上回り、全体としては増加しております。

当第３四半期連結会計期間末の負債は57億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億９千１百万円増加いたしました。主な要因としましては、流動負債「営業未払金」の減少要因等はありましたが、流動負債「未払法人税等」の増加要因等が上回り、全体としては増加しております。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は117億７千１百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億９千１百万円増加いたしました。「自己株式」の取得による減少、期末及び中間配当金の支払による「利益剰余金」の減少要因等はありましたが、当第３四半期連結累計期間の純利益に伴う「利益剰余金」の増加要因等が上回り、全体としては増加しております。この結果、自己資本比率は65.7%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は54億５千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ、18億１千４百万円の増加となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動の結果獲得した資金は22億６千２百万円（前年同期は５億９千９百万円の獲得）となりました。

これは、主に営業債務の減少及び法人税等の支払による資金減少要因等はありましたが、税金等調整前四半期純利益、営業債権の減少及びたな卸資産の減少による資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動の結果使用した資金は１億７千３百万円（前年同期は５億９千１百万円の使用）となりました。

これは、主に無形固定資産の売却による収入及び投資有価証券の売却による収入に伴う資金増加要因等はありましたが、無形固定資産の取得による支出及び子会社株式の取得による支出に伴う資金減少要因等が上回ったことによるものであります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動の結果使用した資金は２億５千８百万円（前年同期は６億１千６百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払及び自己株式の取得による支出に伴う資金減少要因等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期におきましては、平成22年７月28日リリース「弊社所属アーティスト　桑田佳祐に関するお知らせ」のとおり、平成22年10月以降に予定しておりましたニューアルバムが発売延期、全国ツアーが中止となりましたが、当第３四半期連結累計期間の業績は予定通り推移しており、平成22年５月11日に公表しました通期連結業績予想の変更は行っておりません。

※上記の予想は、当企業グループが本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は1,004千円、税金等調整前四半期純利益は17,072千円それぞれ減少しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,472,852	3,660,543
受取手形及び営業未収入金	2,994,464	3,375,537
商品及び製品	1,563,324	1,761,615
仕掛品	1,189,812	1,499,064
貯蔵品	23,938	19,378
その他	1,158,306	1,309,965
貸倒引当金	△138,850	△103,137
流動資産合計	12,263,848	11,522,967
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,145,538	1,199,259
土地	1,760,487	1,760,487
その他（純額）	130,724	126,934
有形固定資産合計	3,036,751	3,086,681
無形固定資産	297,158	323,100
投資その他の資産		
投資有価証券	585,358	557,834
その他	1,305,838	1,471,034
貸倒引当金	△11,154	△267,211
投資その他の資産合計	1,880,042	1,761,657
固定資産合計	5,213,952	5,171,440
資産合計	17,477,801	16,694,407

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,661,718	4,005,097
未払法人税等	337,039	26,372
役員賞与引当金	－	12,180
返品調整引当金	15,561	28,027
その他	744,053	580,032
流動負債合計	4,758,373	4,651,709
固定負債		
退職給付引当金	737,693	660,611
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
その他	194,152	186,269
固定負債合計	948,318	863,353
負債合計	5,706,691	5,515,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,890
利益剰余金	8,392,860	7,775,838
自己株式	△76,713	△22,771
株主資本合計	11,598,862	11,035,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,742	37,326
為替換算調整勘定	△162,176	△134,941
評価・換算差額等合計	△117,434	△97,615
少数株主持分	289,681	241,176
純資産合計	11,771,109	11,179,344
負債純資産合計	17,477,801	16,694,407

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
営業収入	22,333,158	19,192,830
営業原価	17,492,213	14,825,227
営業総利益	4,840,945	4,367,603
返品調整引当金戻入額	49,858	12,466
差引営業総利益	4,890,803	4,380,069
販売費及び一般管理費	2,761,639	2,726,211
営業利益	2,129,163	1,653,858
営業外収益		
受取利息	7,443	4,325
受取配当金	2,900	3,652
負ののれん償却額	20,053	－
その他	17,399	14,713
営業外収益合計	47,795	22,690
営業外費用		
支払利息	4,466	－
為替差損	－	9,588
開業費償却	39,232	－
支払手数料	9,701	10,833
その他	7,054	173
営業外費用合計	60,453	20,594
経常利益	2,116,505	1,655,954
特別利益		
投資有価証券売却益	－	15,625
貸倒引当金戻入額	8,141	－
特別利益合計	8,141	15,625
特別損失		
固定資産除却損	9,699	973
投資有価証券評価損	－	21,542
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	16,068
特別損失合計	9,699	38,584
税金等調整前四半期純利益	2,114,947	1,632,995
法人税、住民税及び事業税	1,134,893	650,026
法人税等調整額	71,421	128,765
法人税等合計	1,206,315	778,792
少数株主損益調整前四半期純利益	－	854,202
少数株主利益	8,833	51,600
四半期純利益	899,798	802,602

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
営業収入	6,299,037	6,823,451
営業原価	4,835,374	5,363,516
営業総利益	1,463,663	1,459,935
返品調整引当金繰入額	8,157	－
返品調整引当金戻入額	－	8,615
差引営業総利益	1,455,506	1,468,550
販売費及び一般管理費	1,068,997	789,345
営業利益	386,509	679,204
営業外収益		
受取利息	1,766	1,224
受取配当金	1,249	1,878
その他	6,242	2,872
営業外収益合計	9,257	5,974
営業外費用		
支払利息	2,024	－
為替差損	－	1,784
開業費償却	17,314	－
支払手数料	5,175	5,974
その他	887	12
営業外費用合計	25,402	7,771
経常利益	370,363	677,407
特別利益		
貸倒引当金戻入額	20,636	1,837
特別利益合計	20,636	1,837
特別損失		
固定資産除却損	203	－
投資有価証券評価損	－	2,842
特別損失合計	203	2,842
税金等調整前四半期純利益	390,796	676,402
法人税、住民税及び事業税	300,948	200,129
法人税等調整額	△49,611	51,879
法人税等合計	251,336	252,009
少数株主損益調整前四半期純利益	－	424,392
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,064	19,890
四半期純利益	141,523	404,502

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,114,947	1,632,995
減価償却費	125,756	161,819
負ののれん償却額	△20,053	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11,291	△220,343
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△22,500	△12,180
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△49,858	△12,466
退職給付引当金の増減額（△は減少）	44,770	77,082
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△24,526	－
受取利息及び受取配当金	△10,343	△7,977
支払利息	4,466	－
支払手数料	－	10,833
固定資産除却損	9,699	973
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△15,625
投資有価証券評価損益（△は益）	－	21,542
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	16,068
営業債権の増減額（△は増加）	2,950,494	381,070
たな卸資産の増減額（△は増加）	350,905	502,982
営業債務の増減額（△は減少）	△2,600,249	△343,378
未払消費税等の増減額（△は減少）	△209,136	104,707
その他の流動資産の増減額（△は増加）	297,510	△154,258
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△220,758	140,557
その他	75,656	143,163
小計	2,805,489	2,427,566
利息及び配当金の受取額	7,436	8,084
利息の支払額	△4,466	－
法人税等の支払額	△2,208,554	△333,942
法人税等の還付額	－	160,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	599,906	2,262,627

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△476,632	△25,375
有形固定資産の売却による収入	－	5,029
無形固定資産の取得による支出	△51,886	△175,916
無形固定資産の売却による収入	39,434	51,257
投資有価証券の売却による収入	－	34,860
子会社株式の取得による支出	△72,000	△55,732
貸付けによる支出	△10,200	△26,250
貸付金の回収による収入	18,521	16,810
その他	△38,845	1,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△591,608	△173,564
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△300,000	－
自己株式の取得による支出	△4,573	△56,193
自己株式の売却による収入	－	2,008
配当金の支払額	△283,209	△184,753
少数株主への配当金の支払額	△11,570	△3,096
その他	△17,364	△16,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616,717	△258,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,015	△16,220
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△609,434	1,814,223
現金及び現金同等物の期首残高	4,144,782	3,638,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,535,347	5,453,043

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

（セグメント情報等）

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）

	アーティストマネージメント事業（千円）	メディアビジュアル事業（千円）	コンテンツ事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
営業収入						
(1) 外部顧客に対する営業収入	4,112,638	1,705,028	481,370	6,299,037	－	6,299,037
(2) セグメント間の内部営業収入又は振替高	24,044	61,043	42,414	127,502	(127,502)	－
計	4,136,682	1,766,071	523,785	6,426,540	(127,502)	6,299,037
営業利益（△損失）	524,183	△116,035	162,760	570,908	(184,399)	386,509

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

	アーティストマネージメント事業（千円）	メディアビジュアル事業（千円）	コンテンツ事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
営業収入						
(1) 外部顧客に対する営業収入	15,733,659	5,073,353	1,526,145	22,333,158	－	22,333,158
(2) セグメント間の内部営業収入又は振替高	45,705	92,903	102,662	241,272	(241,272)	－
計	15,779,365	5,166,257	1,628,808	22,574,431	(241,272)	22,333,158
営業利益（△損失）	2,866,958	△531,806	346,416	2,681,568	(552,404)	2,129,163

（注）1．事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2．各事業の主な内容

(1) アーティストマネージメント事業

アーティスト活動によるコンサート、舞台等の収入、舞台及びイベントの企画・制作による収入、テレビ・ラジオ・コマーシャル出演収入、ファンクラブ会員収入、アーティストグッズ・バンドル商品等の企画・制作・販売等の収入、レコード販売収入及び原盤の制作と著作権管理等による新譜の印税収入、ミュージアム・文化施設等の運営収入

(2) メディアビジュアル事業

テレビ等の番組制作収入、映画製作及び制作配給収入、映像作品の制作、音楽ＣＤ・ＤＶＤ等の仕入・製造・販売

(3) コンテンツ事業

旧譜のレコード原盤権と著作権管理等による印税収入、映画・映像作品等の活用による収入（初回収益計上日より２年超経過分）

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）及び前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）及び前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）及び当第３四半期連結会計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、音楽、映像、演劇等エンターテインメントの領域において、アーティストが創作する楽曲、アーティストが実演又は出演する作品及び製作又は買付けした映像作品等に関して得られる原盤権、音楽著作権、商標権、肖像権、商品化権、映像海外販売権、テレビ放映権、ビデオ化権、劇場配給権などの権利を「コンテンツ」と認識し定義しております。このコンテンツを作り出すのは人であり、当社グループは、このコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としており、その事業の種類別に応じて、「アーティストマネージメント事業」、「メディアビジュアル事業」、「コンテンツ事業」の３つに分類し、これを報告セグメントとしております。

「アーティストマネージメント事業」は、アーティスト活動によるコンサート、舞台等の収入、舞台及びイベントの企画・制作による収入、テレビ・ラジオ・コマーシャル出演収入、ファンクラブ会員収入、アーティストグッズ・バンドル商品等の企画・制作・販売等の収入、レコード販売収入及び原盤の制作と著作権管理等による新譜の印税収入、ミュージアム・文化施設等の運営収入等であり、「メディアビジュアル事業」は、テレビ等の番組制作収入、映画製作及び制作配給収入、映像作品の制作、音楽ＣＤ・ＤＶＤ等の仕入・製造・販売等であり、「コンテンツ事業」は、旧譜のレコード原盤権と著作権管理等による印税収入、映画・映像作品等の活用による収入（初回収益計上日より２年超経過分）等であります。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アーティストマネージメント事業	メディアビジュアル事業	コンテンツ事業	計		
営業収入						
外部顧客への営業収入	12,443,970	5,317,438	1,431,421	19,192,830	－	19,192,830
セグメント間の内部営業収入又は振替高	74,644	276,708	48,490	399,842	△399,842	－
計	12,518,614	5,594,146	1,479,912	19,592,673	△399,842	19,192,830
セグメント利益	2,015,622	99,777	278,936	2,394,337	△740,479	1,653,858

当第３四半期連結会計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アーティストマネージメント事業	メディアビジュアル事業	コンテンツ事業	計		
営業収入						
外部顧客への営業収入	4,519,047	1,791,220	513,183	6,823,451	－	6,823,451
セグメント間の内部営業収入又は振替高	34,180	56,772	9,610	100,563	△100,563	－
計	4,553,228	1,847,993	522,793	6,924,015	△100,563	6,823,451
セグメント利益	713,865	70,394	110,468	894,728	△215,523	679,204

（注）１．セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間	当第３四半期連結会計期間
セグメント間取引消去	1,415	△2,104
全社費用　※	△741,894	△213,419
合計	△740,479	△215,523

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。